

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公表番号】特表2014-502026(P2014-502026A)

【公表日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2014-004

【出願番号】特願2013-543206(P2013-543206)

【国際特許分類】

H 01 T 23/00 (2006.01)

【F I】

H 01 T 23/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

イオンを放出するイオン源と、

第1の導体と第2の導体とを含むコンデンサであって、

前記第1の導体が、前記イオン源によって放出された前記イオンにさらされ、

前記第2の導体が、前記イオン源によって放出された前記イオンから遮蔽される、コンデンサと、を備える、電離平衡装置。

【請求項2】

イオン源のイオン平衡を測定するように構成される回路であって、

第1の導体と第2の導体とを含み、前記第1の導体が前記イオン源によって放出されたイオンにさらされ、前記第2の導体が前記イオン源によって放出された前記イオンから遮蔽される、第1のコンデンサと、

前記第1のコンデンサの前記第2の導体、及び第3の導体を備える、第2のコンデンサと、

前記第2のコンデンサと並列に位置付けられた抵抗器であって、前記抵抗器と前記第2のコンデンサとの前記並列の組合せが、前記第1のコンデンサと直列である、抵抗器と、

スイッチが開いていると、前記第1の導体が前記イオン源からの放出イオンを蓄積し、前記スイッチが閉じられると、前記第1のコンデンサが蓄積電荷を放電する、スイッチと、を備える、回路。

【請求項3】

イオン源のイオン平衡を測定するように構成される回路であって、

第1の導体と第2の導体とを含む、第1のコンデンサと、

前記第1のコンデンサの前記第2の導体、及び第3の導体を備える、第2のコンデンサと、

前記第2のコンデンサと並列に位置付けられた抵抗器であって、前記抵抗器と前記第2のコンデンサとの前記並列の組合せが、前記第1のコンデンサと直列であり、前記抵抗器がおよそ10メガオーム未満の抵抗を規定する、抵抗器と、を備える、回路。

【請求項4】

イオンを放出するイオン源と、

前記イオン源からの放出イオンを受け取り、前記イオン源のイオン平衡を表示する信号

を出力するように構成され、前記信号が、前記放出イオンによって生成されない外部電磁場の影響をほぼ受けない、回路と、を備える、装置。